

文化庁京都移転 Welcome to Kamigyo

令和5年3月、いよいよ京都に文化庁がやってきます。文化庁の所在地となる上京区では、暮らしの中に息づく豊かな文化が脈々と受け継がれています。この移転を機に、上京区で親しまれている文化に触れる機会を創出し、更なる魅力を発信していきます。



▲詳しくはこちら



上京ふれあいネットカミングとは...

上京区内でまちづくりに取り組んでいる個人、団体、NPO等の情報、上京区内の地域情報及び行政等の情報を集約しそれを広く発信するWebサイト。

<https://www.kamigyo.net>



HP

上京 カミング

検索



Facebookでも配信中



FB

多くのレポーターが学びながらまちづくりに関わる方々やイベント等を取材しています。取材を通じて、人や思いがつながり、より良いまちになることを目指しています。普段はWeb発信が主になりますので、この1年を振り返り本紙でその一部を紹介します。

カミングが大事にしていること

- 区民の方々と連携して、地域の魅力の再発見につながるような情報を提供すること。(取材の企画段階から、編集に携わる区民の方々と協議を重ねています。)
- 取材を通じてできたつながりを活用し、地域コミュニティの活性化を図ること。
- 上京に暮らす人が、まちづくりに関わりたくなるような記事・デザイン・メッセージを発信すること。

レポーター募集

一緒にカミングを盛り上げませんか?

毎月新たな取材先や希望などを調整しインタビュー、写真撮影、原稿作成など担当者を決め複数で取材しています。ご自身で興味のある内容を取材し、レポートすることも可能です。

取材依頼募集

こんな楽しい場所を見つけました!! こんな楽しいイベントやります!! など

自薦他薦は問いません。オスズの人物、スポット、イベントなどをお寄せください。

お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当

TEL: (075) 441-5029 FAX: (075) 432-0566



令和5年3月発行 京都市印刷物 第044838号
発行:京都市上京区役所 地域力推進室(企画担当)

上京ふれあいネット KAMING カミング



令和4年度を振り返って

この1年間にカミングに掲載した記事の一覧です。

- I** イベントレポート/まちと人をつなぐイベントのレポート
- P** Kaming Person/様々な分野で活躍する団体と熱い思いで活躍している方の紹介
- S** Kaming Spot/まちの注目スポットの紹介

地域のはぐくみ

- I** 子どもが主役! 親子で過ごすわらべまつり
- P** 正親まちの本箱プロジェクト
- P** 寺院からひとり親家庭を応援 Aama.project
- S** 「おかえり食堂」の「おかえり弁当」と「イライラしない子育てサロン」
- P** ベビー&キッズ用品交換会に参加してきました!!
- P** 地域に住む子どもたちを支える「子どものよりよい育ちを支える会」
- P** 障がいのある子ども、ない子ども一緒に過ごすごちゃまぜの場「はうす結」
- I** かみぎゅうくとひなまつり撮影会



よりよい暮らし

- I** 楽しい気持ちが原動力 チーム上京!
- I** 地域をつなぐ西陣の朝市マルシェ、開催!
- P** アートや文化に着目して、上京区の魅力を伝えるフリーペーパー「上京じかん」
- P** 上京空き家対策ラボ「アナタの実家の片付けを考える時間」動画完成!
- S** 地域にある、宿の新しいかたち マガザンキョウト
- S** 「日本初のゼロ・ウェイスト(ごみゼロ)スーパー・斗々屋(ととや)が上京区に! 一持続可能な社会の実現へ」
- I** 路地のある町家における、健やかで居心地の良い暮らし
- P** 聞き語り合えるまちを上京から世界へ〜対話之町京都ヲ目指ス上京〜
- P** 言葉もユニバーサルデザイン化する時代「やさしい日本語」を広める会



次世代へつなぐ伝統

- I** 文化庁移転記念事業・京都市歴史資料館開館40周年記念特別展「京都市歴史資料館がある場所―御所の東の今と昔―」シンポジウム「京都御所と公家が住む町」
- I** 人生の節目を祝い、縁を結ぶ「結ぶ上京 祝う上京」展
- P** 狂言爆笑伝統芸能の魅力―1000年以上の伝統を継承する「千本ゑんま堂大念佛狂言保存会」
- P** 京のほんまもんを日常に―京友禅ブランド「SOO(ソマル)」
- S** 香りを「聞き」、体験を通じて文化を身近に 山田松香木店
- S** 私たちの食・住に寄り添う200年の歴史を持つ油商



Webサイトで掲載した内容を一部お届けします

Take Free



◎カミングレポート特集

- ### 地域のはぐくみ
- 寺院からひとり親家庭を応援 Aama.project
 - 寺院内から親子交換会に参加してきました!!
 - ベビー&キッズ用品交換会に参加してきました!!
 - 地域に住む子どもたちを支える「子どものよりよい育ちを支える会」

- ### よりよい暮らし
- 楽しい気持ちが原動力 チーム上京!
 - 聞き語り合えるまちを上京から世界へ〜対話之町京都ヲ目指ス上京〜
 - 言葉もユニバーサルデザイン化する時代「やさしい日本語」を広める会

- ### 次世代へつなぐ伝統
- 狂言爆笑伝統芸能の魅力―1000年以上の伝統を継承する「千本ゑんま堂大念佛狂言保存会」
 - 香りを「聞き」、体験を通じて文化を身近に 山田松香木店
 - 私たちの食・住に寄り添う200年の歴史を持つ油商

◎カミングとは... レポーター募集案内・取材依頼募集

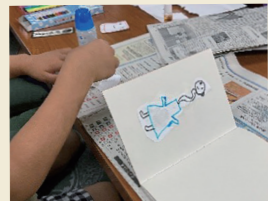


地域のはぐくみ 未来を担う子どもたちの、健やかな成長につながる活動が、上京区内で広がっています。

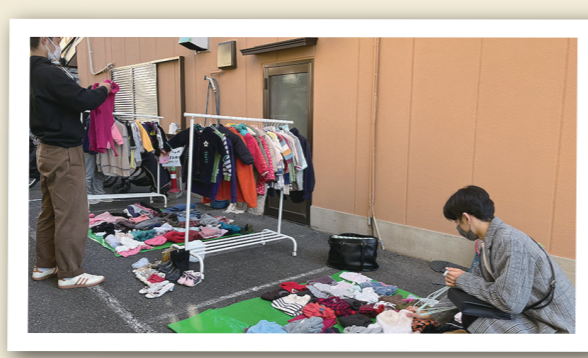
寺院からひとり親家庭を応援 Aama.project



妙蓮寺塔頭玉龍院の住職である中道亜子さんは、ひとり親の家庭の子育てを応援するAama.project(アーマプロジェクト)の活動をされています。「Aama」はネパール語で「お母さん」を意味し、お寺の広間で親がくつろげる場を設ける他、夏には音楽に触れながら子どもたちが絵を描くイベントを行いました。「色々な立場の人たちが思いやりをもって過ごせるような温かい場所を作っていきたい」と様々な企画を実施されています。



ベビー&キッズ用品交換会に 参加してきました!!



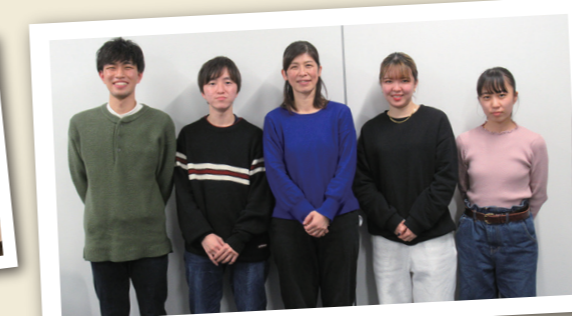
At-Kyotoでは、月に一度区内でベビー&キッズ用品の交換会を開いています。今年度は北野商店街にある小児用補装具専門「ゆめ工房」の協力を得て衣服や育児用品を交換できる場もできました。モノとモノ、人と人がつながる交換会と合わせて、出産・子育てに関する相談やダウン症の子どもがいる家庭のピアサポート拠点をつくるなど、子育てを地域で支え合う仕組みを作れるように日々活動しています。



地域に住む子どもたちを支える 「子どものよりよい育ちを支える会」



「子どものよりよい育ちを支える会」では、子どもたちが自主的に育つ過程を「支える」ことを大切に、堀川商店街を拠点として活動を広げています。「KYOTOロケット部」「堀川こども団」、「こども基地HOPE」、「cafe HOPE」の4つを柱に、自分自身の可能性を信じ抜く生き方の提案、居場所づくりなどを実践されています。



次世代へつなぐ伝統

ただ継承するだけではない、時代の変化とともに発展していく伝統文化を紹介しています。

狂言爆笑伝統芸能の魅力—1000年以上の伝統を継承する 「千本ゑんま堂大念佛狂言保存会」

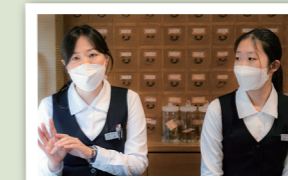


「千本ゑんま堂大念佛狂言」は引接寺(通称ゑんま堂)で1000年以上伝わる念仏狂言です。ゑんま堂狂言の最大の特徴は京ことばのセリフ。保存会の顧問戸田さん、事務局長の嶋さんを

中心にお話を伺いました。映像や音声を残すことが難しい時代から受け継がれてきた伝統を、試行錯誤しながら継承しています。



香りを「聞き」、体験を通じて文化を身近に 山田松香木店



江戸・享保年間に薬種業を始め、1772年に創業した山田松香木店では、香りに関連する製品の販売に加え、香りに親しんでほしいという思いから、店舗で香りの体験も開催されています。開香では香りを鑑賞することを「聞く」といいます



が、香りを聞き、その歴史や背景を想像し理解する、奥深い道であることがわかりました。「匂袋作り」では天然香原料を自分好みでブレンドし、香りを通じて文化を身近に体感することができました。

私たちの食・住に寄り添う200年の歴史を持つ油商

江戸時代から200年にわたり、人々の暮らしや京都の文化を支えてきた山中油店。「暮らしと油」をテーマに、主に建築用塗料や油の歴史についてお話を伺いました。山中油店では、多くの方に自然塗装の良さを知ってもらいたいと、ベンガラ講習会を定期的に開催されています。自然塗料は木材の保護のみならず、環境や健康面からも注目されています。先人の知恵を京町家の保全にも活用していきたいです。



よりよい暮らし 一人一人の意識や行動で、みんなが暮らしやすいまちに変えていくことができます。上京区では、暮らしの質の向上を目指す様々な取組が行われています。

楽しい気持ちが原動力 チーム上京!

「身近な地域の人たちとつながり、気軽に外に出て安心して暮らしていきたい」と認知症当事者の安達さんの声をきっかけに、福祉関係者やご近所さんが集まってチーム上京!が生まれました。やってみたいことを「どうやったらできるかな」と相談したり、協力者を見つけたりする過程そのものを楽しみながら、誰もが安心して暮らせるまちについて考え、活動しています。



聞き語り合えるまちを上京から世界へ ～対話之町京都ヲ目指ス上京～

対話之町京都ヲ目指ス上京では、フィンランド発祥の「オープンダイアログ」という対話からヒントを得て、「聞き語り合う」ことを実践する対話会を開いています。また、自宅前や庭などの敷地にベンチを置いて、人と人がうっかりつながる場となる「ベンチ置だけプロジェクト」を行い、対話の場づくりを進めています。



言葉もユニバーサルデザイン化する時代 「やさしい日本語」を広める会

「やさしい日本語」を広める会は、日本社会で生活する言語文化が異なる人々とのより良い共生を目的としており、主に、日本語を第一言語とする人を対象とした、わかりやすい日本語による外国人とのコミュニケーション方法の普及に取り組んでいます。



例えば、「ここで支払いをしてください」ではなく、「ここでお金を払ってください」というように、やさしい言葉を使うことで、相手に伝わりやすくなります。誰もがより生きやすい社会をつくることを大切に活動しています。